

【よくある Q & A】取り組み編

要点学習の使い方

Q 「要点学習」は、学校で習う前 or 習った後のどちらのタイミングで使うのがよいですか？

A 英語・数学・国語は、学校の授業で習った後、理科・地歴は学校の授業で習う前に使うのがおすすめ。

英・数・国の「要点学習」は、学校の授業を掘り下げていく内容に。理科・地歴は、学校の授業で習っていないでも学習できるよう、基本的かつ重要事項の説明が中心の内容になっています。教科によって使いわけてください。

Q 「要点学習」は必ず取り組まないとダメですか？

A 基本的には必要です！

「要点学習」は以下の役割があります。

英・数・国	学校の授業で得た知識を添削問題を解くための力に変える役割
理科・地歴	学校の授業で習っていない内容の基本理解を助ける役割

英・数・国では添削問題を解くために、理科・地歴ではその単元の基本を理解するために、「要点学習」は欠かせません。
〔授業で習った理科・地歴の範囲＝その月のZ会の学習範囲〕の場合も、ぜひ授業内容の理解度を確認するために活用してください。

Q 「要点学習」の映像授業はどこから見ることができますか？ 必ず見なければいけませんか？

A 「Z会 MyPage」の「映像授業（通信教育）」から見るができます。「要点学習」に書かれている内容が理解できれば、映像授業は見なくても大丈夫です。

「要点学習」には、その単元の学習において重要なポイントが丁寧に書かれていますので、それを読んで内容が理解できれば、映像授業を見る必要はありません。
苦手な科目・単元で、「要点学習」の内容だけでは不安が残る場合・文字の説明だけではうまく頭に入ってこない…という場合に、映像授業を活用してください！
映像授業は、「Z会 MyPage」の「映像授業（通信教育）」メニューで受講講座を選択すると、視聴することができます。
※ Windows のパソコンで視聴する際は、Google Chrome をご利用ください。

カリキュラムについて

Q 学校で習っている単元と、Z会の学習単元が違うみたいですが…

A Z会では、学習カリキュラム（単元の届く順番）を調整することができます。Z会と学校の学習の進み方が違って学習しづらい……という場合には、以下の手順で相談してください。

- 手順① Z会のカリキュラムを確認
「カリキュラム表」を見て、Z会の学習の順番を確認する
※カリキュラム表は、「スタートセット」でお届けしています。
- 手順②授業の学習順を確認
学校の授業の学習の順番を確認する
※学校の先生に聞いたり、シラバスを見たりしましょう。
- 手順③ Z会に相談する
「教えてZ会！」から相談する
※「Z会 MyPage」の「教えてZ会！」▶「学習相談」から相談しましょう。
※専科「東大総合演習」・「英語ライティング」・「小論文（高2）」「分野別攻略コース 数学Ⅲ基礎」はカリキュラム変更ができません。

添削問題について

Q 添削問題を解くときにわからないところがあったらどうすればいいですか？

A ①辞書・教科書・参考書で調べる、②できるところまで頑張ったら提出する…の2つの方法があります！

添削問題はテストではないので、わからないところがあれば、調べても OK。教科書はもちろん、辞書や参考書を積極的に使って調べましょう。
また、Z会の学習は、復習で理解を完璧にすることが最終目標となるので、問題を解くときには、完璧に解けなくても OK。
できるところまでで提出しましょう！添削後の復習でじっくりと取り組めば問題ありませんよ。
※復習していてわからないことがある場合には、Z会に質問することもできます。

Q 解答用紙にある「答案感想欄」には何を書けばいいですか？

A 添削問題に取り組んだ感想を書きましょう。

「答案感想欄」には、添削問題に取り組んだ感想（難しかった・簡単だった）や解くときに困った点、理解できたことなどを書きましょう。
学校行事や日常生活のことを書いても構いません。積極的に書いてくださいね！

答案提出について

Q 提出目標日を過ぎてしまいました。もう提出できないのでしょうか？

A 添削有効期限内（解答用紙に記載）であれば添削指導を受けることができます。

「提出目標日」は 1 カ月の学習サイクルの「めやす」です。
添削有効期限内であればいつでも提出&添削指導を受けることができますので、ぜひ頑張って取り組んで提出してください。

Q 答案提出用封筒がなくなったら、どうしたらいいですか？

A 「Z会 MyPage」からご請求ください。

提出用封筒が足りなくなった場合は、「Z会 MyPage」から請求ができます。
「申込・変更手続き」▶「各種請求」メニューからご請求ください。